

ちゅうごく  
中国

ふくよかなお顔でほほ笑んでいる中国の菩薩像です。

お腹に飾られている3つの珠が垂れるペンダントはシルクロード各地でみることができ、シルクロードによってさまざまな文化が伝わった事がよくわかります。



観音菩薩立像  
7世紀  
石灰岩

やまおり



焰肩仏坐像  
2-3世紀  
片岩

この仏像は「焰肩仏」といって、両肩から火花を立ち上げるアツガニスタツン  
アツガニスタツンで昔栄えた大国「カピサ」の遺跡から発掘される仏像に多く見られる表現です。悪い電を倒す力があるとか？仏様のパワーを表しています。

たにおり

にほん  
日本

シルクロードの終着点、日本では主に「木」を使って仏像が作られました。これは平安時代後期の阿弥陀如来立像。お顔がふっくらしていて一重まぶたのおだやかな顔立ちです。すね！寄木造りという角材をいくつか合わせて作られています。



阿弥陀如来立像  
12世紀 木彫

\*太点線を切ろう！

やまおり



仏陀坐像  
300年頃  
砂岩

1世紀頃にガンタローとならんでインドのマトローで仏像が作られるようになります。目を大きく見開き、がっちりした体つきが特徴です。他の仏像と比べて色が赤いですね！これはこの土地でとれる砂岩と、この赤茶色の石が使われているからです。

うおしち

# 平山郁夫 シルクロード美術館



〒408-0031  
山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6  
☎0551-32-0225  
開館時間 10:00~17:00 (入館16:30まで)

## 美術館でのルール

- さわらない
- はしらない
- しずかな声で
- メモはえんぴつで



やまおり

# らっそう発見

シルクロード各地の  
仏像を比べてみよう



平山郁夫  
シルクロード美術館

①

やまおり



弥勒菩薩交脚坐像  
2-3世紀  
灰色片岩

ガンタロー・パキスタンはシルクロードの王子様としてインドに生まれました。仏像がはじめて作られた場所はガンタローという今のパキスタン。日本の仏像とは違い、ギリシヤ彫刻のように顔の彫りが深く、アケメンですね！

うおしち



仏像は「仏陀」という一人の人物をモデルにしているのに、顔や素材など様々ですね。それは、仏像が作られた地域によって、住む人や、手に入る素材、作り方が違うからです。さあ、どんな違いがあるか見に行ってみよう！

②

ここ「平山郁夫シルクロード美術館」には、シルクロード各地の仏像がたくさん展示されています。